

腫瘍切除後の創部および形態に関する後ろ向き観察研究のため、 当院に入院・通院された患者さんの創部・形態の診療データを用 いた医学系研究に対するご協力をお願い

研究責任者 所属 慶應義塾大学医学部 職名 助教
氏名 酒井 成貴
連絡先電話番号 03-5363-3814

このたび当院では、腫瘍切除のご病気で入院・通院された患者さんの創部・形態の診療データと
いった医学系研究を、医学部倫理委員会の承認ならびに病院長の許可のもと、倫理指針および法令
を遵守して実施しますので、ご協力をお願いいたします。

この研究を実施することによる、患者さんへの新たな負担は一切ありません。また患者さんのプ
ライバシー保護については最善を尽くします。

本研究への協力を望まれない患者さんは、その旨を「8 お問い合わせ」に示しました連絡先まで
お申し出下さいますようお願いいたします。

1 対象となる方

西暦 2007 年 4 月以降およびデータ収集が終了する 2025 年まで、腫瘍切除術のため通院し、手
術を受けた方が対象となります。

2 研究課題名

承認番号 20200162

研究課題名 腫瘍切除後の創部および形態に関する後ろ向き観察研究

3 研究実施機関

慶應義塾大学医学部形成外科

4 本研究の意義、目的、方法

形成外科において最も関係するのは、皮膚組織の創傷治癒・上皮化・瘢痕と形態に対するアプロ
ーチであり、その定量的な評価法を検討することは、今後創傷部位の治療効果における比較検討を行
っていく上で重要です。

5 協力をお願いする内容

皮膚および皮下にできる腫瘍は全身に発症する可能性を有し、定まった手術（定型手術）は少なく
過去のデータを収集することが重要となります。過去に取得したカルテデータをもとに部位や種類

による分類を行い、術後の創部および形態に関する評価を行うことが本研究の主旨である。術後 3 か月、6 か月、または最終受診日において、通常診療において得た創部の臨床画像および痛み・しびれ・引き攣れといった患者本人の有害事象の訴えをもとにしたデータを使用し、形成外科専門医の評価を行います。評価したデータは学会・論文で発表することにより医学の進歩に貢献いたします。

6 本研究の実施期間

研究実施許可日 (通知書発行日) ~ 2030 年 7 月 17 日

7 プライバシーの保護について

- 1) 本研究で取り扱う患者さんの個人情報(年齢・性別のみです。その他の個人情報(住所、電話番号など)は一切取り扱いません。
- 2) 本研究で取り扱う患者さんの診療記録は、個人情報をすべて削除し、第3者にはどなたのものか一切わからない形で使用します。
- 3) 抽出された診療記録を結びつける情報(連結情報)は存在せず、本研究により抽出されたデータは研究終了まで厳重に管理されます。また研究計画書に記載された所定の時点で完全に抹消し、破棄します。

8 お問い合わせ

本研究に関する質問や確認のご依頼は、下記へご連絡下さい。

また本研究の対象となる方またはその代理人(ご本人より本研究に関する委任を受けた方など)より、診療記録のデータ収集・発表の停止を求める旨のお申し出があった場合は、適切な措置を行いますので、その場合も下記へのご連絡をお願いいたします。

所属 慶應義塾大学医学部 職名 助教

氏名 酒井 成貴

連絡先電話番号 03-5363-3814

以上